

報道関係各位

2019年6月5日

## <記者発表会のご案内>

**50を超える企業のサポートを受け、世界最高峰のソーラーカーレースへ！**  
**前回の雪辱を果たすべく、工学院大学が最先端の技術を集結した新車両で悲願の初優勝に挑む**  
**『工学院大学ソーラーチーム』新車両お披露目記者発表会**

**開催日時:2019年6月27日(木) 14:00~15:00 / 開催場所:工学院大学 八王子キャンパス**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

工学院大学(東京都新宿区/八王子市)の学生プロジェクトである『工学院大学ソーラーチーム』が、10月にオーストラリアで開催されるソーラーカーの世界大会「2019 ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(BWSC)」への参戦に伴い、完成したばかりの新車両をお披露目する記者発表会を2019年6月27日(木)14:00より、工学院大学八王子キャンパスで開催します。

今年の10月に開催されるブリヂストンワールドソーラーチャレンジは、世界約20カ国・40チーム以上が参加予定で、広大なオーストラリア大陸を北から南へ約5日間かけて全長約3,000kmを縦断する、2年に1度の世界最高峰のソーラーカーレースです。

設立10周年を迎える『工学院大学ソーラーチーム』は、学内のものづくりの施設を最大限に活用しながら、300名を超える学生メンバーや各分野で先端研究に取り組む教授陣らと活動しています。加えて、帝人株式会社・株式会社ブリヂストンなど、日本を代表する多数の企業のサポートを受け、学生自らが設計・製作した“Designed by 工学院大学”、“Made in 工学院大学”の新車両を完成させました。2015年の2度目の参戦では準優勝の実績を残し、2017年の3度目の参戦ではレース直前のアクシデントを乗り越えながら第7位となりました。そして、2019年はチームにとって4度目のチャレンジで悲願の初優勝を目指します。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが万障お繰り合わせの上、ご来場賜りますようお願い申し上げます。  
敬具

### 『工学院大学ソーラーチーム』新車両お披露目記者発表会 開催概要

- 日時:2019年6月27日(木) 14:00~15:00(開場 13:00、受付開始 13:30 予定)
- 会場:工学院大学 八王子キャンパス 18号館「いぶきホール」(東京都八王子市中野町 2665-1)  
→<https://www.kogakuin.ac.jp/campus/access.html>
- スケジュール(予定):
  - ・学長挨拶(工学院大学 学長 佐藤 光史)
  - ・サポート企業代表ご挨拶(帝人株式会社 モビリティ部門 部門長 帆高 寿昌 様)
  - ・『工学院大学ソーラーチーム』のご紹介/新車両のお披露目  
(ソーラーチーム監督 濱根 洋人・学生キャプテン 尾崎 大典)
  - ・質疑応答/フォトセッション

<ご返信用紙> でのご回答をお願い致します。

## ■工学院大学ソーラーチームとは 〈特設サイト〉 <https://www.kogakuin.ac.jp/solar/>

“50年後の未来を考えた地球の持続的利用”をプロジェクトの理念に掲げ、学部や学科の枠を超えたメンバー300名以上が活動中。車両の開発・設計から製作、レースでの走行、チームマネジメントなど全てを学生主体で行っている。メンバーの成長のみならず、国連による「持続可能な開発目標(SDGs)」達成への貢献を目指す大学全体が取り組む活動の一つである。

### チーム設立 10 周年に悲願の世界大会初優勝へ

工学院大学の学生プロジェクトは、学生グループの理工学に関する自主的な創造活動を活性化して、学生の創造性を育むと共に、社会でリーダーとして活躍できる人間的な成長を目指して活動。そのプロジェクトの1つである『工学院大学ソーラーチーム』は2009年にメンバー8名でスタートし、国内大会での連続優勝に留まらず世界大会への参戦を経験することで大きく飛躍、2019年には設立10周年を迎え300名を超えるプロジェクトチームに成長している。

### 学生のチャレンジが大学の理念と共に大きく成長

大学全体で挑戦する世界大会への参戦は、工学院大学が掲げる「無限の可能性が開花する学園」という理念の大きな実践の場となる。『工学院大学ソーラーチーム』は、車両をメインに扱う技術部、サポート企業との調整や広報を担う運営部、会計全般を管理する財務部に分かれ、車両開発・設計から製作、レースでの走行、チームマネジメントまで全ての役割を学生自らがしている。学生は自主的・能動的なチームの活動を通して、社会でリーダーとして活躍する力を養い、ソーラーチームでの活動を経験した卒業生の多くが、日本有数の自動車メーカーや関連企業において最先端の現場で活躍、日本の技術力を支えている。

### “理工系大学”の特徴を生かし、豊富な研究資源・充実したものづくり施設を最大限に利用

制御工学を専門とする濱根洋人監督(工学部 機械システム工学科 教授)を筆頭に、日々、先端研究に励む機械・化学・電気・情報・建築分野から多数の教員陣が、学部・学科の枠を超えて横断的な技術支援を展開。また、2017年には「ソーラービークル研究センター」を立ち上げ、最先端研究によって技術面をバックアップするとともに、キャンパス内の様々なものづくりの施設・設備を利用して車両製作に取り組んでいる。

### 工学院大学ソーラーチームの主な戦歴

2010年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	—	1号機は当時世界初となる4輪で初出場、約600km走破。
2011年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	準優勝	前回大会の経験を生かし約900km走破しチーム初の入賞。
2012年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	ソーラーカー部門とチャレンジクラスで優勝の2冠制覇。
2013年	10月	ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(オーストラリア) チャレンジャークラス	—	2号機Practiceを製作し参戦。完走できず途中数力所でトレーラー搬送。
2014年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	台風の影響でレース時間が大幅に減少するも、断トツの成績で優勝。
2015年	10月	ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(オーストラリア) クルーザークラス	準優勝	3号機OWLを製作し参戦。レース走行はトップでゴールしたが総合順位で準優勝。
2016年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	大会新記録樹立、チーム史上初・女性ドライバー誕生。
2017年	10月	ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(オーストラリア) チャレンジャークラス	第7位	4号機Wingを製作し参戦。レース直前のアクシデント(車両破損)もチーム力で乗り越えて完走。
2018年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	レース中の悪天候や車両横転のトラブルに直面するも接戦を制し総合優勝。

## 2019 ブリヂストンワールドソーラーチャレンジへの主な参戦スケジュール

6月27日	新車お披露目記者発表会
7月中旬	テストコース走行・模擬レース訓練
8月	ソーラーカーや物資を船便輸送
9月下旬	メンバーがオーストラリアへ出発
10月7～12日	静的車検及び動的車検
10月13～18日	本戦レース期間
10月20日	表彰式
10月22日	メンバー日本帰国



2017 年前回大会の様子



学生自身が車両を製作

### ■ブリヂストンワールドソーラーチャレンジとは

<特設サイト> <https://www.bridgestone.co.jp/bwsc/>  
 太陽光を動力源として、約5日間を掛けオーストラリア北部のダーウィンから南部のアデレードまでの約3,000kmの総走行技術を競う世界最高峰のソーラーカーレース。3つのクラスでそれぞれの基準に従ってレースを行う。夜間は各チームが広大な砂漠の中でそれぞれキャンプを張って過ごすなど、心身ともにハードなサバイバルレースで、2017年に行われた前回大会では19の国と地域から大学生を中心とする38チームが出場。『工学院大学ソーラーチーム』はチャレンジャークラスに出場予定。



レースは広大な砂漠地帯を走行

#### <2019 ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ概要>

- 開催期間: 2019年10月13日(日)～20日(日)
- 開催場所: オーストラリア(スタート:ダーウィン、ゴール:アデレード)
- 主催者: 南オーストラリア州政府観光局
- 大会タイトルスポンサー: 株式会社ブリヂストン
- 大会クラス区分:
  - ・チャレンジャークラス/タイヤ4輪、ドライバー1名、速度を重視したデザインの車両で目的地までの順位を競う。
  - ・クルーザークラス/タイヤ4輪、ドライバー1名+乗員1名以上が乗車、エネルギー効率や実用性を競う。
  - ・アドベンチャークラス/過去の大会の規則に準じた車両など、上記2クラスの条件を満たさない車両も参加。

<報道関係者様からのお問い合わせ先>

PR事務局(共同PR株式会社) / 担当: 大須賀・大澤・中澤

TEL: 03-3571-5365 / FAX: 03-3571-5259 / e-mail: [kogakuin-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:kogakuin-pr@kyodo-pr.co.jp)

## &lt;ご返信用紙&gt;

ご送信先	PR事務局	共同PR 担当:大須賀・大澤・中澤
	FAX	03-3571-5259
	メール	<a href="mailto:kogakuin-pr@kyodo-pr.co.jp">kogakuin-pr@kyodo-pr.co.jp</a>
当日連絡先	携帯(大須賀)	070-5550-3094

## 『工学院大学ソーラーチーム』新車両お披露目記者発表会

開催日時:2019年6月27日(木) 14:00~15:00/開催場所:工学院大学 八王子キャンパス

当日は、工学院大学の新宿キャンパスと八王子キャンパス間の専用送迎バス(所要時間約45分)をご用意しております。ご利用希望の方へは、運行時刻などの詳細を別途メールにてご案内させていただきます。

工学院大学八王子キャンパスへのアクセス方法はこちら→<https://www.kogakuin.ac.jp/campus/access.html>

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席 <input type="checkbox"/> ご欠席 いずれにかにチェックをお願い致します	
貴社名		
貴媒体名		
ご所属		
ご芳名	(本人含め 名)	
ご連絡先	TEL	FAX
	e-mail	@

ご出席の場合は以下にご記入願います。

ご来場方法	<input type="checkbox"/> 公共交通機関を利用 ※八王子キャンパス行バスの時刻表は次頁をご確認ください。
	<input type="checkbox"/> 新宿キャンパス-八王子キャンパス間の専用送迎バス利用 ※専用送迎バスをご利用希望の方は、別途メールにて詳細をご案内いたしますので、上記ご連絡先 e-mail 欄のご記入をお願いいたします。
	<input type="checkbox"/> その他(車使用 台・ほか )
撮影	なし・あり (スチール・ムービー)
掲載・放送予定	年 月 日 発売/放送
通信欄	※個別取材のご希望などがございましたらお知らせください。



## 工学院大学八王子キャンパス各最寄り駅から会場へのアクセス／路線バス(西東京バス)

- ・[直通]のご利用をお勧めします。[各停]はキャンパスから離れたバス停(「工学院大学西」)到着となります。  
※バス停から会場へはスタッフがご案内します。
- ・JR 拝島駅、西武拝島駅からの路線バス利用は、工学院大学ホームページの「アクセス」をご確認ください。
- ・タクシーをご利用の場合は、行き先は「中野町の工学院大学」とお伝え下さい。

### 行き:八王子キャンパス行き

出発	JR 八王子駅北口								京王八王子駅			
	15 番乗り場		6 番乗り場						3 番乗り場			
時間	分		分						分			
12	[直通] 00	[直通] 29	[各停] 02	[各停] 17	[各停] 32	[直通] 40	[各停] 47	—	[各停] 00	[各停] 15	[各停] 30	[各停] 45
13	—	—	[直通] 00	[各停] 02	[各停] 17	[直通] 30	[各停] 32	[各停] 47	[各停] 00	[各停] 15	[各停] 30	[各停] 45

[直通]…バス停「工学院大学」へ到着の直通バス【通常約 15 分】

時間帯で乗り場が異なるためご注意ください。

[各停]…バス停「工学院大学西」へ到着の各停バス【通常約 22～25 分】

### 帰り:八王子駅(JR・京王線)行き

出発	工学院大学乗り場 (東門)					工学院大学西乗り場 (南門)			
	分					分			
15	[直通] 00	[直通] 30	[直通] 35	[直通] 45	[直通] 55	[各停] 03	[各停] 27	[各停] 47	—
16	[直通] 05	[直通] 20	[直通] 35	[直通] 50	—	[各停] 05	[各停] 22	[各停] 38	[各停] 49

